

佐々総合病院脳神経外科・脳卒中センター の紹介



明治41年 西東京の地に開業し115年以上
2019年4月に脳神経外科医一人で脳神経外科を再立ち上げて6年目

理念

急性期医療を通じて西東京地域に貢献する
～患者さんのみならず職員にも選ばれる病院へ～

佐々総合病院脳神経外科医師のメンバー

出身大学出身医局関係なく、地域医療に貢献したい若手脳外科専門医が集まりました

• 脳神経外科顧問 平塚秀雄

• 2019年4月入職 脳神経外科・脳卒中センター センター長 福田 直 (昭和大学2000年卒)

戸田中央メディカルケアグループ本部脳神経外科特任顧問

主に脳腫瘍/三叉神経痛を担当、病院内・グループ・院外との調整役

脳卒中学会専門医指導医+脳卒中の外科技術指導医+頭痛専門医指導医+リハ専門医+がん治療認定医

• 2022年4月入職 脳神経外科医長 高橋祐一 (三重大学2011年卒→東京女子医大東医局)

主に脳神経血管内治療を担当 脳卒中学会専門医指導医+脳神経血管内治療専門医

• 2024年4月入職 脳神経外科 鈴木健也 (産業医科大学2005年卒→藤田医科大学)

主に脳卒中の外科+脳神経血管内治療を担当 脳卒中の外科技術認定医+脳神経血管内治療専門医

• 2023年7月入職 脳神経外科 谷 将星 (北里大学2011年卒→日本医大救急科医局)

救急・脳神経外科全般対応 救急科専門医+脳神経血管内治療専門医+脊椎脊髄外科専門医

• 2023年4月入職 脳神経外科 小田一徳 (日本医科大学2014年卒→日本医大脳外科医局)

救急・脳神経外科全般対応 脳卒中学会専門医+米国医師免許 2025年カナダ留学予定

• 2023年6月入職 脳神経外科 龍岡樹里 (東邦大学2015年卒→日大脳外科医局)

救急・脳神経外科全般対応

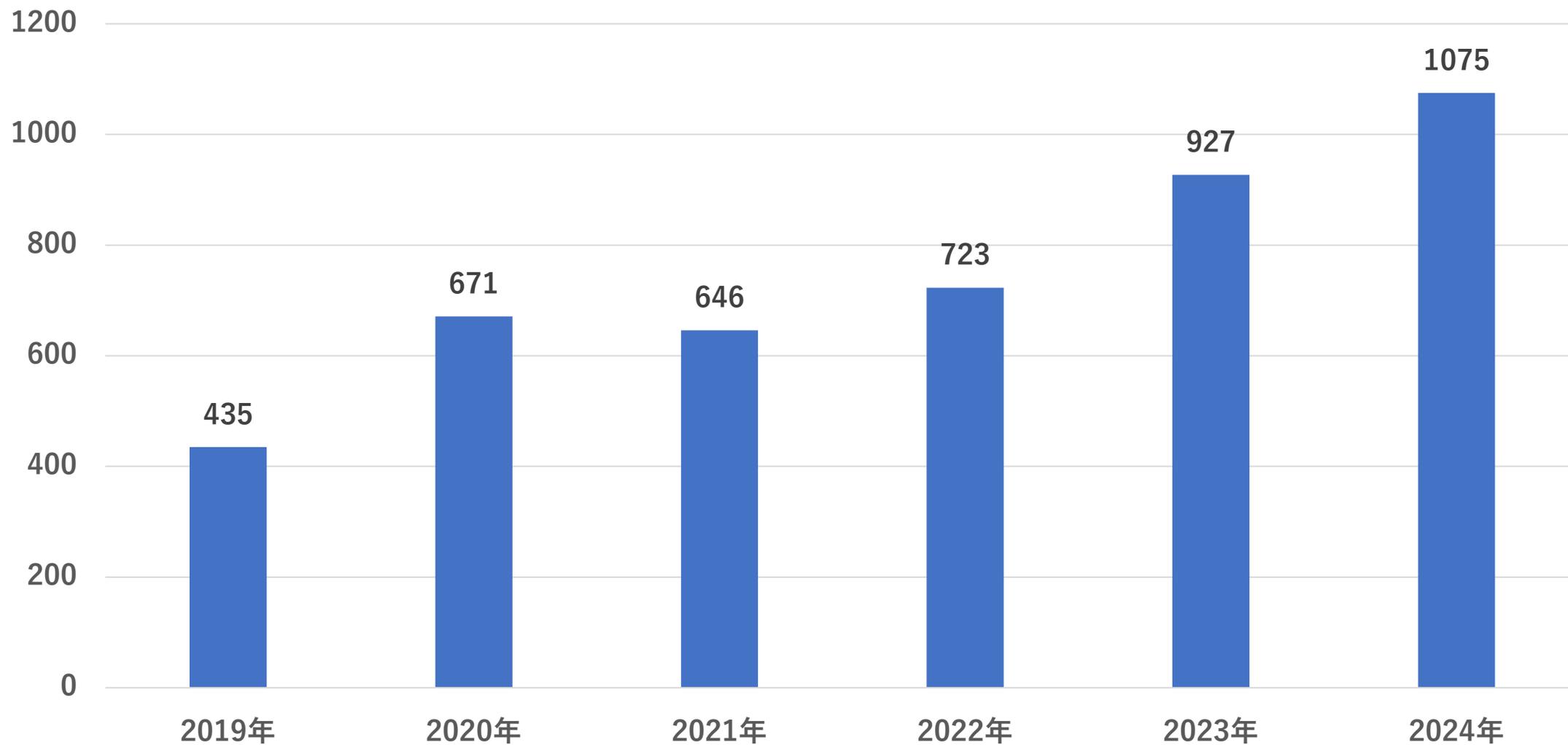
専門医等の人数

- ・ 医学博士 2人
- ・ 脳神経外科学会 専門医6人 指導医3人
- ・ 脳卒中学会 専門医3人 指導医2人
- ・ 脳卒中の外科学会 技術認定医1人 指導医1人
- ・ 脳神経血管内治療学会 専門医3人
- ・ 頭痛学会 専門医1人 指導医1人
- ・ 救急医学会 専門医1人
- ・ リハビリ医学会 専門医1人
- ・ 脊椎脊髄外科学会 専門医1人
- ・ がん治療認定医機構 認定医1人

その他

2024年4月から 横浜新緑総合病院脳神経外科 海老原研一先生が手術研修（木曜日）
2024年7月から9月 杏林大学脳神経外科 小野田凌先生が3カ月間当院で研修
2025年1月から3月 杏林大学脳神経外科 永井淳先生が3カ月間当院で研修予定

佐々総合病院脳神経外科 新規入院数



2023年病院指標 急性期 脳梗塞の入院数

佐々総合病院は多摩地域で

患者数 2位

平均在院日数 2位

と厚生労働省の定めた病院指標でも

トップレベルになりました

青字 一次脳卒中センターコア

緑字 一次脳卒中センター

黒字 その他有力病院

院内データ

各病院の病院情報の公表

| | 2023年病院指標 | |
|-----------------|------------|-------------|
| | 患者数 | 平均在院日数 |
| 公立昭和病院 | 365 | 18.82 |
| 佐々総合病院 | 361 | 17.4 |
| 東海大学医学部附属八王子病院 | 357 | 24.3 |
| 東大和病院 | 350 | 20.4 |
| 府中恵仁会病院 | 321 | 32.93 |
| 武蔵野赤十字病院 | 305 | 18 |
| 国立病院機構災害医療センター | 295 | 22.44 |
| 杏林大学病院 | 294 | 22.83 |
| 日本医科大学多摩永山病院 | 257 | 26.76 |
| 東京医科大学八王子医療センター | 237 | 19.33 |
| 市立青梅総合医療センター | 213 | 20.73 |
| 町田市民病院 | 147 | 25.03 |
| 公立福生病院 | 135 | 26.73 |
| 東京都立多摩総合医療センター | 132 | 16.45 |
| 南町田病院 | 121 | 48.26 |
| 東京都立多摩北部医療センター | 111 | 24.96 |
| 西東京中央総合病院 | 101 | 36.17 |
| 立川病院 | 94 | 22 |
| 東京慈恵会医科大学附属第3病院 | 86 | 25.71 |
| 武蔵野徳洲会病院 | 61 | 50.49 |
| 東京都立多摩南部地域病院 | 4 | 20.5 |
| 一橋病院 | なし | なし |
| 北原国際病院 | 未公表 | 未公表 |

| | 2023年病院指標 | |
|-----------------|------------|-------------|
| | 患者数 | 平均在院日数 |
| 東京都立多摩総合医療センター | 132 | 16.45 |
| 佐々総合病院 | 361 | 17.4 |
| 武蔵野赤十字病院 | 305 | 18 |
| 公立昭和病院 | 365 | 18.82 |
| 東京医科大学八王子医療センター | 237 | 19.33 |
| 東大和病院 | 350 | 20.4 |
| 東京都立多摩南部地域病院 | 4 | 20.5 |
| 市立青梅総合医療センター | 213 | 20.73 |
| 立川病院 | 94 | 22 |
| 国立病院機構災害医療センター | 295 | 22.44 |
| 杏林大学病院 | 294 | 22.83 |
| 東海大学医学部附属八王子病院 | 357 | 24.3 |
| 東京都立多摩北部医療センター | 111 | 24.96 |
| 町田市民病院 | 147 | 25.03 |
| 東京慈恵会医科大学附属第3病院 | 86 | 25.71 |
| 公立福生病院 | 135 | 26.73 |
| 日本医科大学多摩永山病院 | 257 | 26.76 |
| 府中恵仁会病院 | 321 | 32.93 |
| 西東京中央総合病院 | 101 | 36.17 |
| 南町田病院 | 121 | 48.26 |
| 武蔵野徳洲会病院 | 61 | 50.49 |
| 一橋病院 | なし | なし |
| 北原国際病院 | 未公表 | 未公表 |

一次脳卒中センターコア

一次脳卒中センター(PSC)コア認定について

一般社団法人日本脳卒中学会
脳卒中センター認定委員会

<「一次脳卒中センター(PSC)コア」認定について>

【認定基準】

一次脳卒中センター(PSC)コアは下記の5項目をみたすことが求められる

1. 一次脳卒中センター(PSC)に認定されていること
2. 日本脳神経血管内治療学会の脳血管内治療専門医と3学会認定の脳血栓回収療法実施医が合計して常勤3名以上であること
3. 血栓回収治療実績が年間12例以上あること
4. 自施設において24H/7Dで血栓回収治療に対応可能であること
5. 脳卒中相談窓口を設置すること

**2023年血栓回収療法55例、血管内治療専門医3人と条件が整い、
2024年度より一次脳卒中センター（PSC）コアに認定されました**

2024年4月1日～多摩地域（430万人）の 一次脳卒中センターコア施設

- 杏林大学病院（1137床） 三鷹市
- 日本医科大学多摩永山病院（405床） 多摩市
- 国立病院機構災害医療センター（455床） 立川市
- 公立昭和病院（485床） 小平市
- 武蔵野赤十字病院（611床） 武蔵野市
- 佐々総合病院（183床） 西東京市

の6施設のみです。

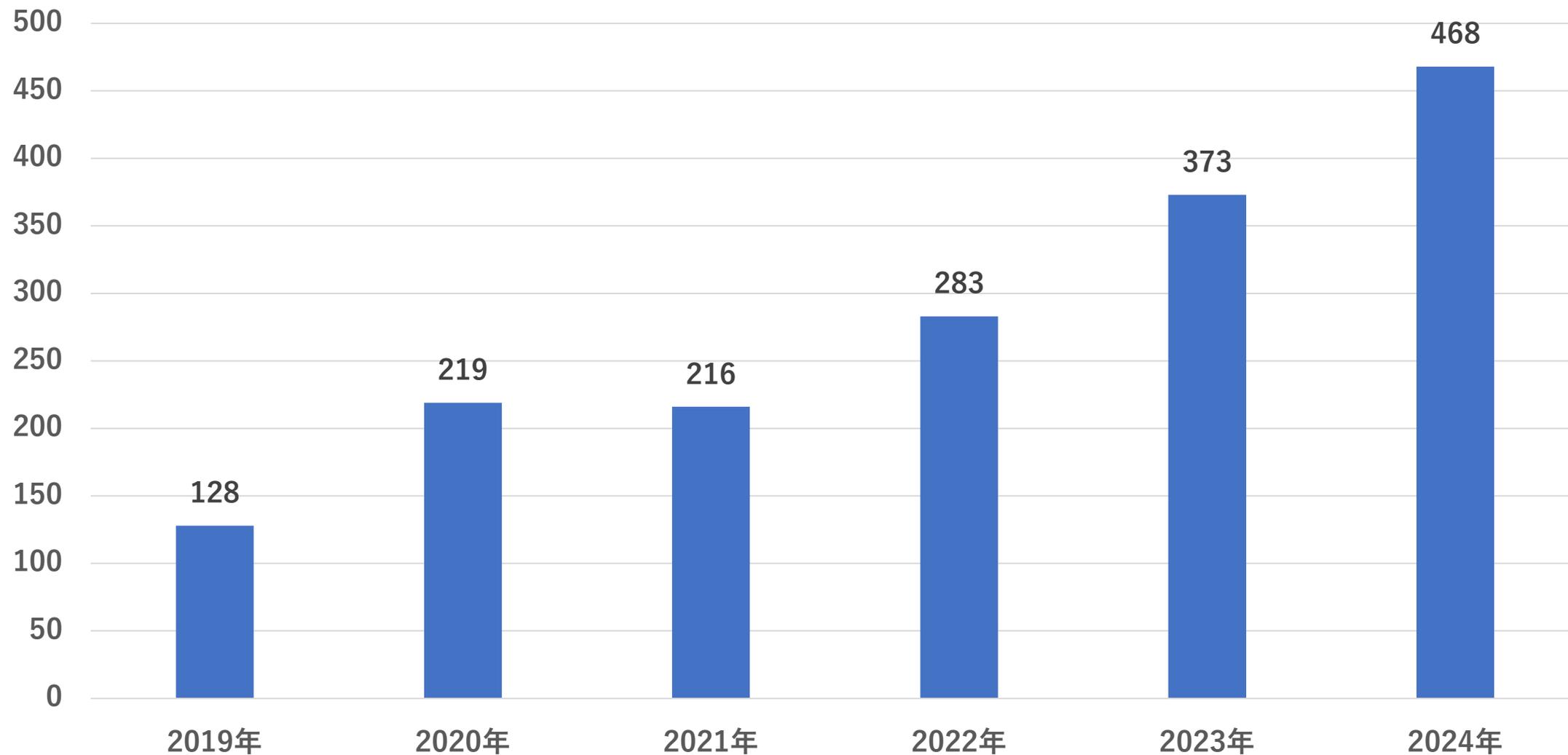
多摩地区の代表的な病院である下記病院は認定されておられません

大学附属病院： 東京医大八王子医療センター、東海大学医学部付属八王子病院、
東京慈恵会医科大学第三病院（狛江）

すべての都立病院： 東京都立多摩総合医療センター、東京都立多摩北部医療センター、
東京都立多摩南部地域病院

すべての市立病院： 青梅市立総合病院、日野市立病院、町田市民病院、稲城市立病院
公立福生病院

佐々総合病院脳神経外科 手術数



2024年手術数：468例

直達手術312例、血管内手術105例、rtPA51例

| 脳血管障害 | | |
|------------|-------------------------|-----|
| 直達手術 115例 | 開頭血種除去術 | 35 |
| | 減圧開頭術 | 4 |
| | バイパス術 | 25 |
| | STAMCA | 23 |
| | OAPCA | 1 |
| | High Flow (橈骨動脈) | 1 |
| | AVM/dAVF | 4 |
| | CEA | 13 |
| | クリッピング術 (SAH14) | 30 |
| | クリッピング術 (バイパス併用) (SAH1) | 2 |
| | 後頭動脈瘤摘出術 | 1 |
| | 橈骨動脈摘出術 | 1 |
| 血管内手術 105例 | コイル塞栓術 (SAH12) | 16 |
| | CAS | 5 |
| | 鎖骨下動脈血管形成術 | 1 |
| | AIS | 73 |
| | PTA単独 | 4 |
| | 機械的血栓回収療法単独 | 66 |
| | 血栓回収+PTA | 2 |
| | 血栓回収+CAS | 1 |
| | エリル動注 | 7 |
| | エリル動注+PTA | 1 |
| | 動注血栓溶解療法 | 1 |
| その他 | アルテプラザーゼ静注療法 | 51 |
| 合計 | | 271 |

| | | |
|-----|---------------------------------|-----|
| 脳腫瘍 | 開頭腫瘍摘出術 | 23 |
| | 経鼻的腫瘍摘出術 (下垂体) | 5 |
| 合計 | | 28 |
| 外傷 | 穿頭血腫洗浄ドレナージ術 (慢性硬膜下血腫) | 99 |
| | 開頭血腫除去術 (AEDH3, ASDH6, ICH2) | 11 |
| | HITT | 2 |
| 合計 | | 112 |
| その他 | 頭蓋形成術 | 8 |
| | MVD (三叉神経痛1、顔面痙攣1) | 2 |
| | シャント術 (VP18, LP5, VA2, 抜去+入替え2) | 27 |
| | 感染 (頭蓋骨除去、デブリードメント) | 6 |
| | 脳室ドレナージ術 | 3 |
| | 気管切開術 | 10 |
| | 鼻出血止血術 | 1 |
| 合計 | | 57 |

脳神経外科医療ネットワークの構築と 様々な背景のある 脳神経外科医のリクルート

新型コロナ感染症流行を経験し、また医師の働き方改革が導入される中
一人の医師が24時間365日脳神経外科急性期医療に奮闘すること、
一つの病院で地域の脳神経外科急性期医療を一手に引き受けること、
は不可能になりつつある。

複数の医師、複数の施設で地域の急性期医療を担うことが重要で、
多くのスタッフがチームとなって対応することが必須です。

TMG武蔵 脳神経ネットワーク

4つの コンセプト

地域に必要とされ、地域に貢献するための、
脳神経外科専門技術向上への取り組み

脳神経外科多職種チームの、そして地域医療の、
コーディネーターかつリーダーとしての人間力向上への取り組み

チーム内で統一した理念のもと、医療を推進し、
その取り組みを世に発信する取り組み

お互いを経験や学年ではなく、
尊重しコミュニケーションをとることで、休む時は休み、やるときはやる、
効率的でメリハリのある仕事に努める取り組み

佐々総合病院、新座志木中央総合病院、一橋病院の3病院を拠点として
地域に密着した脳神経外科医療を展開しております。
地域医療に貢献しつつ、手術／脳神経血管内治療をしっかりと学びたい
30－40代の若手の先生方を募集しております。

TMG武蔵脳神経ネットワークのメンバー

- 2019年4月入職 福田 直 (昭和大学2000年卒) 佐々総合病院脳神経外科立ち上げ
- 2020年4月入職 鈴木 遼 (杏林大学2013年卒)

佐々総合病院に所属 → 2024年4月新座志木中央総合病院に異動し直達手術部門を立ち上げ

- 2021年12月入職 奥村浩隆 (山梨医大2000年卒) 新座志木中央総合病院脳神経血管内治療科立ち上げ
- 2022年3月入職 桑島淳氏 (昭和大学2005年卒) 新座志木中央総合病院に所属
- 2022年4月入職 高橋祐一 (三重大学2011年卒) 佐々総合病院に所属
- 2022年4月入職 田中 遼 (琉球大学2012年卒) 新座志木中央総合病院に所属
- 2023年4月入職 松本淑恵 (杏林大学2010年卒) 新座志木中央総合病院に所属
- 2023年4月入職 小田一徳 (日本医科大学2014年卒) 佐々総合病院に所属
- 2023年4月入職 塩川諒治 (日本大学2015年卒) 新座志木中央総合病院に所属
- 2023年6月入職 龍岡樹里 (東邦大学2015年卒) 佐々総合病院に所属
- 2023年7月入職 谷 将星 (北里大学2011年卒) 佐々総合病院に所属
- 2023年9月入職 岩間淳哉 (東邦大学2009年卒)

佐々総合病院に所属 → 2024年4月一橋病院脳神経外科立ち上げ

- 2024年4月入職 米谷博志 (筑波大学1981年卒) 一橋病院に所属
- 2024年4月入職 鈴木健也 (産業医大2005年卒) 佐々総合病院に所属



多施設、複数医師で役割分担をして地域の脳神経外科急性期医療を円滑に進め、
かつ
医療の質を維持するには、
適切なコミュニケーションツールが必須

2023年3月～



caseline

caseline を用いた診療サポート

遠隔臨床サポートシステムのイメージ

リアルタイムで
相談

リアルタイムで
回答

A病院
相談側

B病院
応談側

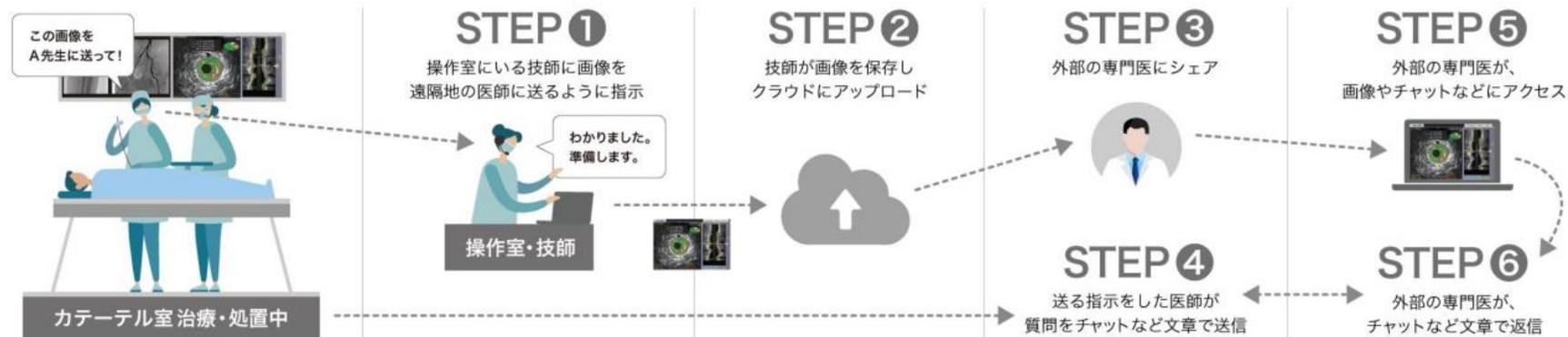
緊急時に専門医が遠隔から
治療/検査をサポートできる

治療の方向性を
遠隔の専門医に相談できる

- 医用画像とこれを用いた遠隔診断に特化したテレビ電話
- 治療中の現場の医師と遠隔の専門医とをリアルタイムで繋ぎ、直感的な操作で画像共有・音声通話によるコミュニケーションが可能

DICOM共有から「画像伝送技術」への転換

DICOM (CT、MRIなど) 共有の場合



連携開始までにかかる時間

20秒

15分~30分

映像伝送・共有の場合



わずか **2ステップ**で

カテーテル室の医師と外部の専門医を直接つなぎ、同じ画像を見ながらの会話が可能になります。

30分 ▶ **20秒**

かかる外部の専門医との連携

もからずスピード連携

Caselineは、インターネット回線を通じて登録したiPhone, iPad上に院内任意のモニター画面をテレビ電話として共有することができるシステムで、電子カルテや脳血管撮影の画面、手術の画面を共有することで、外部からリアルタイムにアドバイスをすることができます。また複数人複数場所で情報を共有しつつカンファレンスを行うこともできるシステムです。

佐々総合病院脳神経外科

最近（2023年5月～）のこころみ

地域2次救急病院、脳神経系クリニックに対しての 24時間365日ホットライン開設

ホットライン接続病院、クリニック

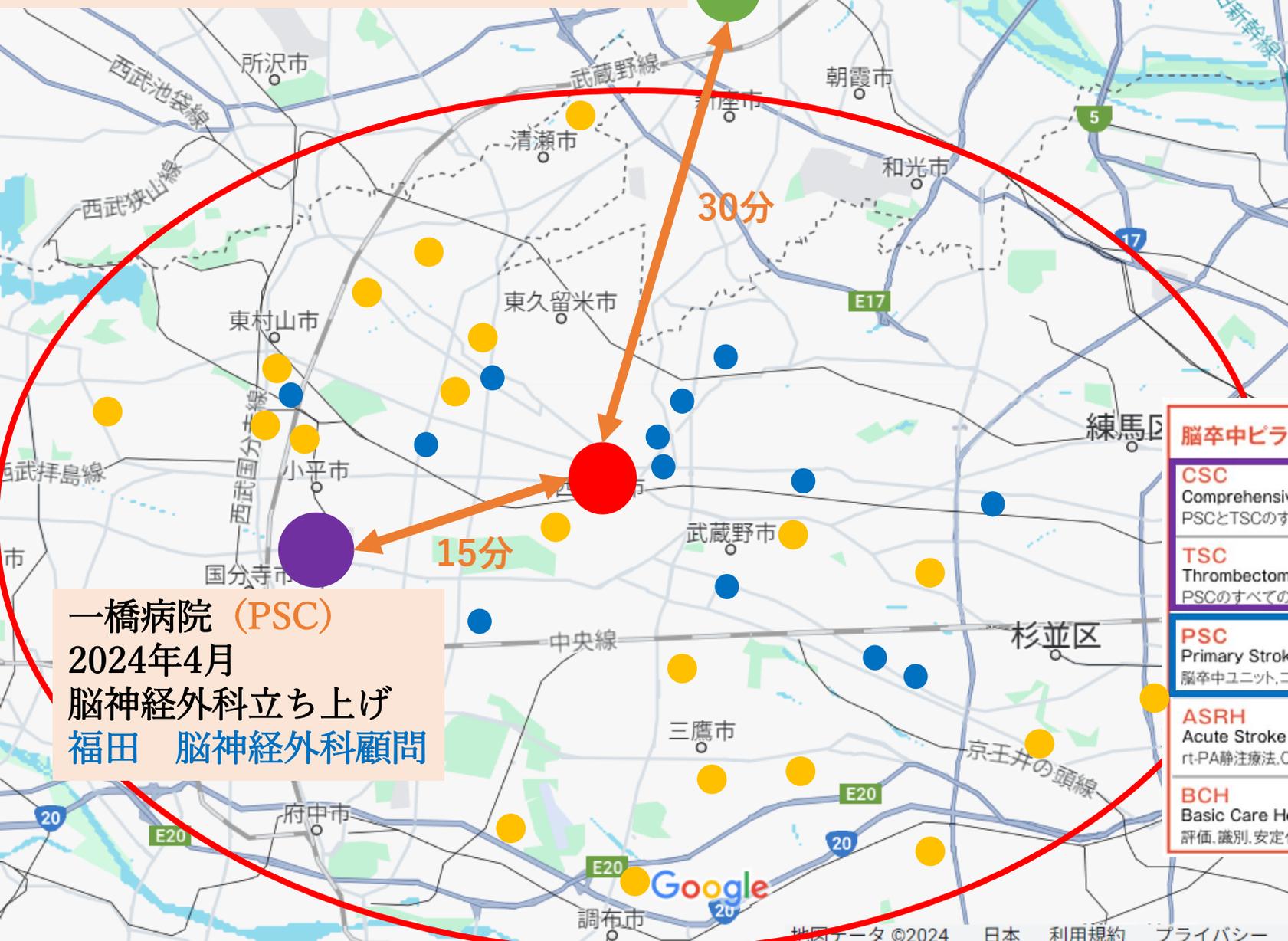
病院

東大和病院、国立病院機構東京病院、むさしの病院、一橋病院、三鷹中央病院
久米川病院、前田病院、滝山病院、武蔵野徳洲会病院、田中脳神経外科病院
荻窪病院、久我山病院、ニューハートワタナベ病院、榊原記念病院、調布東山病院
杏林大学杉並病院、世田谷北部病院、西東京中央総合病院、多摩北部医療センター、
きよせ旭ヶ丘記念病院、杏林大学病院

クリニック

みわ内科クリニック、みわハートクリニック、石川クリニック、
やぎさわ内科・脳神経内科、すずのね内科・神経内科、あかしあ脳神経外科、
むさしの中町クリニック、いせだ脳神経外科・神経内科、すぎなみ脳神経外科、
吉祥寺脳神経外科・内科クリニック、上石神井もりもと脳神経外科、
杉並すだクリニック

新座志木中央総合病院 (PSCコア)
 2021年12月脳神経血管内治療科立ち上げ
 福田 脳神経外科顧問



- 佐々総合病院 (PSCコア)
 2019年4月脳神経外科再立ち上げ
 福田
 脳神経外科・脳卒中センター長
- ホットライン接続病院
 21病院
- ホットライン接続クリニック
 12クリニック

一橋病院 (PSC)
 2024年4月
 脳神経外科立ち上げ
 福田 脳神経外科顧問



医療の質の向上を目指して

週6日の多職種朝回診と
脳外科医同席リハビリテーション

急性期脳外科病棟のチーム目標

1. 神経損傷を最小限にとどめ
2. 合併症を管理し、2次予防を図り
3. ADLの改善に取り組み
早期の生活社会復帰を目指す

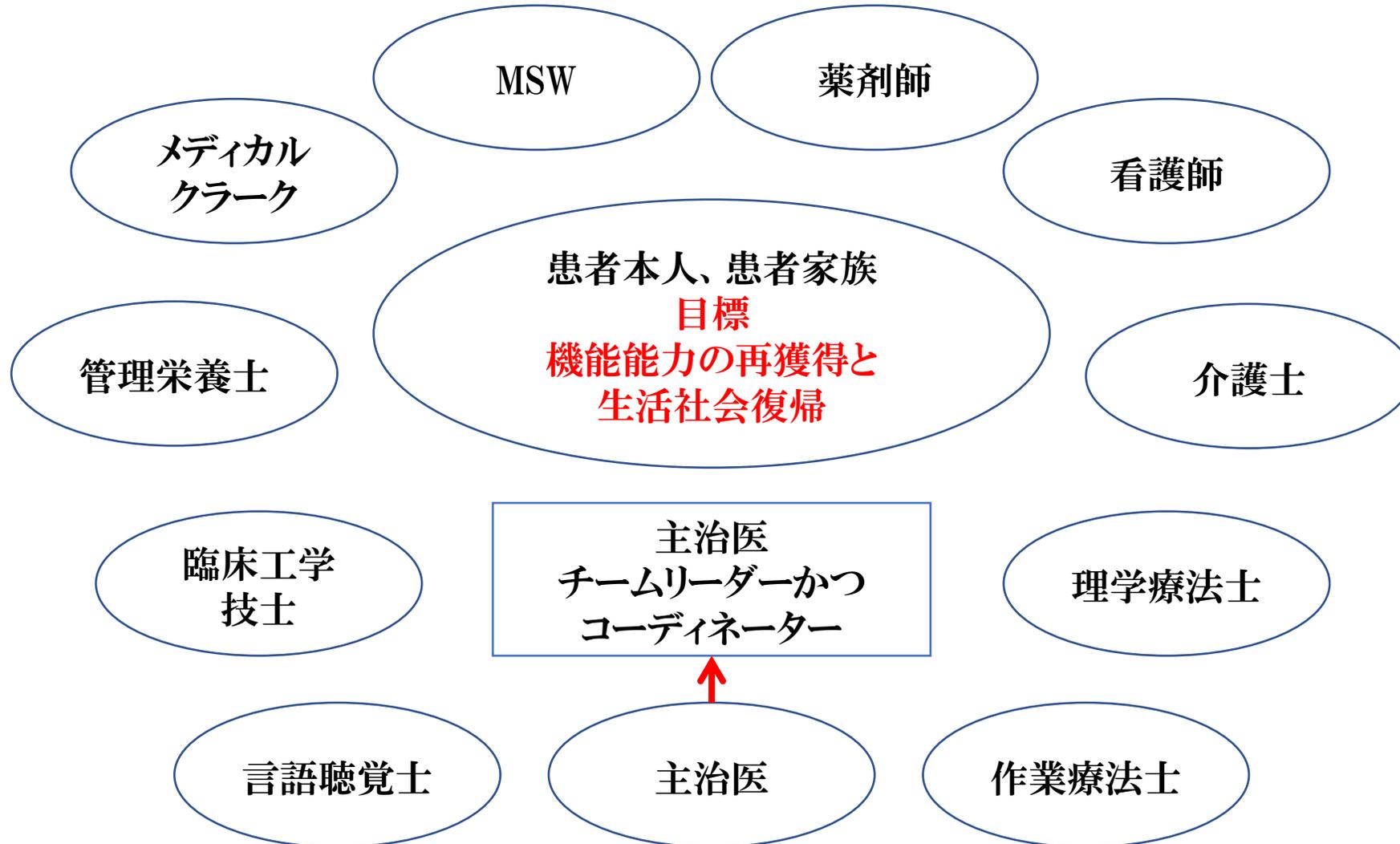
軽症患者に医原性の不動廃用症候群を発生させない
重症患者に入院時より不動廃用症候群の予防を導入し、
すみやかな回復期への転棟を実現する

最初の一歩は
早期離床



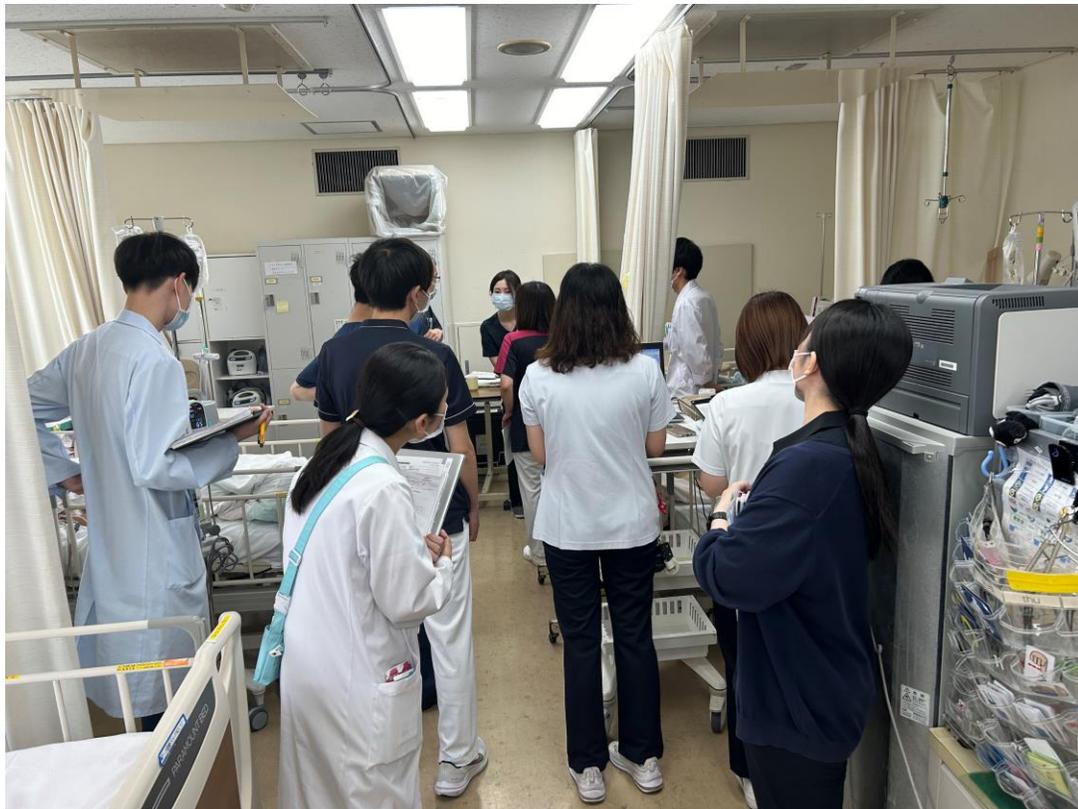
宇宙飛行士の筋力は
1日で1年分低下
脳卒中で1日ベッド安静した患者の筋力は
2日で1年分低下

患者を中心としたチーム医療が理想



多職種朝回診

2019年4月以降多職種（医師、看護師、セラピスト、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士）朝回診を週2日から開始し段階的に回数を増やし、2023年4月以降月曜日から土曜日の週6日とした。



脳神経外科医師同席リハビリテーション

2023年8月から週1日（火曜日午前中）の脳外科医師同席リハビリテーションを開始した。

